

磐城時報

編輯者 磐城時報社
印刷所 磐城時報社
發行人 磐城時報社
廣告料 一行十四字 計金五十錢
日刊 (日曜祭日) 休刊

單獨開業を目的とした 磐城銀行整理案

重役の私財二十五萬圓提供 預金は切捨てた上株化

財界動搖の余波をうけ、昨年五月以來休業を續けてゐた磐城銀行の整理案は昨十七日發表されたが、整理の方法は減資積立金の取崩し、預金は切捨てた上株化である。

大口は株式化

磐城銀行の整理に要するに預金二、大口預金は百八十一萬五千九百八十八圓二十一錢、並に借入金を如何にして返済し、且つ永久に損と認むべき不良資産を如何にして補填するかあり、預金の支拂方法は左の如くである。

- 一、小口預金 ▲預金總額一、八六四、七五二、七三九の中間未滿のものは開業と同時に全額、百圓以上百十七圓六十錢迄は百圓(五分切捨)の七十四万七千五百五十八圓九十九錢迄は百圓(五分切捨)の七十四万七千五百五十八圓九十九圓を支持(利子は免除)この總額五錢及び整理に伴ふ行員の解雇四、大口預金切捨 二五〇、〇〇〇、〇〇〇、手當その他經費二萬六千五百四十三圓五十二圓三錢五厘である十圓、合計百七十七萬四千圓の補填方法は左の如く決定したの預金は百三十圓、一萬三千四百九十一圓五十錢でその切捨により利益は四百九十一圓五十錢である。
- 二、諸積立金取崩 五五八、八九六、〇〇〇
- 七、未収入利子 六四、四九一、六六

預金者の諒解を得 開業は十二月二日

磐銀開業後の方針

預金並に借入金の支拂方法及び預金の株式化については十一月不良資産の補填方法は大体以上末日迄に預金者の諒解を得て十の如くであるが、之がため資本二月一日から開業する方針である。開業後は小名濱、江名の兩支店のみを存続し他の富岡、磯原、大津、平瀧、浪江、豊間、四倉の七出張所を廢止すると共に現重役安島重三郎氏が頭取となつて、經營の中心人物は日本銀行に人選方を一任する事になつた、尙ほ重役の私財二十五萬圓の内提供別及びその提供方法左の如し。

不良資産百七十萬圓を 補填すべき資源

- 一、小口預金 ▲預金總額一、八六四、七五二、七三九の中間未滿のものは開業と同時に全額、百圓以上百十七圓六十錢迄は百圓(五分切捨)の七十四万七千五百五十八圓九十九錢迄は百圓(五分切捨)の七十四万七千五百五十八圓九十九圓を支持(利子は免除)この總額五錢及び整理に伴ふ行員の解雇四、大口預金切捨 二五〇、〇〇〇、〇〇〇、手當その他經費二萬六千五百四十三圓五十二圓三錢五厘である十圓、合計百七十七萬四千圓の補填方法は左の如く決定したの預金は百三十圓、一萬三千四百九十一圓五十錢でその切捨により利益は四百九十一圓五十錢である。
- 二、諸積立金取崩 五五八、八九六、〇〇〇
- 七、未収入利子 六四、四九一、六六

整理案に就て 白井博之氏談

整理案發表と同時に取締役白井博之氏は語る。

磐城銀行は財界動搖の余波をうけ昨年五月二十二日休業以來専ら整理に努めましたが、多額の欠損があるため進行意の如くならず今日に及び關係方面は勿論一般社會に對し多大の不安を感ぜしめた事は申御援助を願ひ度い。

株主總會で 整理案を承認

重役に數氏加はる

磐城銀行整理案は別項の如く作製されたので十七日午前十時代表者の出席を求め詳細に内容から株主總會を開き出席人員百十人、株数八千二百八十五株、委任状を合せ二百二十八名、一が、右について委員長である萬二千五百五十二名、白井博之氏議長、伏見町長は語る。

執行委員會

▲取締役白井博之、白井一郎、安島重三郎、草野順平(以上重任)木田剛、永山徳一、平澤内記(以上新任)

▲監査役小野晋平(重任)山崎庫太郎、大原盛次(新任)

▲公金預金者 總會で態度決定

▲公金預金者 總會で態度決定

▲徒弟が逃走 平町一丁 谷間の流れがら「オー」「オー」と呼んでゐる。詩集「顔と樹」より

漁船轉覆

十七日午前十時頃石城郡豊間村阿部彦次郎氏が經營する大敷漁船に船長原田勘之助以下十數名が乗込み出漁の途中豊間築港沖合一海淵の地點で暗礁に乗りあげて轉覆し島田熊太郎(二)は行方不明となり同村消防組、青年團總出動して捜査中だが他の乗組員は漁業組合の救助船に救助された。

時報文藝

山之呼聲 中野 勇 雄

あ、何處からか僕を呼んでゐる、誰でもない、呼んでゐる、それが誰であらうと、誰をであらうと、僕も君も「オー」と應へやう腹の底から應へやうこれは人類の頌歌だ誰でもない、山へ来たら山頂から、溪谷から、雪溪から呼んでくれ、呼びかけてくれ人類本然の精神を祝福して呼んでくれ、あゝまた谷の合間から

峯のこんがりから谷間の流れがら「オー」「オー」と呼んでゐる。詩集「顔と樹」より

父を置いて

若夫婦家出

宮城縣上閉伊郡甲子村釜石炭礦坑夫佐々木重太郎(十九)は妻佐佐木トキ(十六)と共に去る十月十一日家出したが平驛までの切符を求めて乗車した事が判明したので石城の炭礦にゐるではないかと實父佐々木辰次郎は十七日平驛に捜索方を願ひ出でた。

竹の子一座開演

町聚樂館では二十六日から下山竹の子一座の新派劇で開演する

三人殺しを逮捕するまで

小田部警部(十三)

之等關係人に對し同行を求むると共に、其の行動を捜査し本人の着衣、携帶品及犯罪當日の行動を徹底的捜査し、血痕附着の衣類其他證據蒐集に努むべく各捜査官二名乃至三名宛一組と爲し分擔し、總動員を開始したり、然るに信夫郡飯坂町牛馬商紺野義見當三十三年は同月二十日朝居宅出發したる儘所在判明せざる旨の報告あり、依つて更に刑事捜査をして彼の行動及所在を捜査せしむるに本人は七月二十日朝居宅出發後、笹谷村大槻已之助方に至り、同人と同伴にて赤岩驛より板谷驛迄汽車に乗り、板谷より被審者千吉方に至り、同夜は千吉吉方に宿泊し、賭博を爲し廿四日迄滞在し居たる事實察知したるを以て愈々容疑の實濃厚と認め、同人の居宅に捜査二名張込みしめ、手配中偶々七月二十七日午前十一時頃、自宅に歸宅したるを以て、直ちに同行を求め、一面本人の着衣

賣地

商店向宅地 好間村大字上好間字忽滑六十一ノ一 間口十一間半奥行八間九十一坪

一、縣道に沿ひ好間郵便局眞西隣、好間尋常高等小學校に近し、古河鑛業株式會社好間寮坑前好間軌道停留所隣に位し、古河會社は目下數百萬圓を投じ新斜坑開鑿中、近く着炭すれば人夫入込多く大々有望地

地主 牛屋町 久

驚いた!!!

平・加納活版所の印刷物

作物専用の殺虫劑

テリス石鹼

三十錢、一圓廿錢、二圓(類似品に御注意)

テリス石鹼は蔬菜、果樹、花卉、庭園樹、盆栽等總ての作物の害虫を見事に全滅する優良な殺虫劑であります。

特効力確實一定、生育促進
微價 格 低廉、使用法簡易

▲使用後臭臭汚点を残しません。

特約店 小野屋藥店

新妻眼科醫院

入院應需 看護婦一名至急募集
平町 宇紺屋町

カキ貝御料理

十六日より

松島名産 カキフライ スカキベ



牛豚肉廉賣

秋みみのる秋!! 肥ゆる秋!!!

愈々食肉のシーズンは来る 精力と体力の増進を計るは今!!!

牛	中	肉	百	金	二十五
同	上	肉	同	金	四十五
同	口	肉	同	金	六十五
同	ヒ	肉	同	金	八十五
豚	中	肉	百	金	二十五
同	上	肉	同	金	四十五
同	口	肉	同	金	六十五
同	ヒ	肉	同	金	八十五
平	驛	前	(元平劇場入口)		

深谷牛豚肉店

平町南町 大和田醫院
電話一七〇番

ユラノスケ粕取焼酎發賣

二合白瓶二十五錢(空瓶交換仕候)

平町四丁目平驛通り

永山酒造店總發賣元 電話二〇七番

内科 小兒科 (入院應需)

藤沼醫院

平町紺屋町 電話平驛五〇七番

治淋新劑 強タカシリ

特約店 大平屋藥店 電話四六二番

森の鍛冶屋

映畫藝術黎明來人々見よ偉大此寶玉篇を
◆日活新人派傑作
◆永井寛二郎主演 由川正和監督
◆主演 白井權八 全
◆久米謙、澤村春子、櫻井京子助演
◆權八が若き日のいどすがくしき青春の繪巻である
◆無敵大助演 七十
◆松原監限美大藤野秀夫
◆上浦作督の韻田中絹代
◆正田村清與の結城映治
◆大特上湧味、詩城、高尾光子
◆熱大徳、水、出、小野寺正一
◆演映三、で、岡村文子、金料畫
◆謝郎宏、大見、小村新一、通回
◆松竹提供、石太フ口大作
◆市川右太衛門、主演五味國枝
◆古海卓二、監督若月孔雀
◆原任、小金山小次郎 全
◆武州の長脇差小次郎が壯年の旅に血と涙と剣に彩られた任月義剣に